

## 日本信頼性学会 Lcc 研究会の紹介

Lcc (Life cycle costing) 研究会は日本信頼性学会の第 1 種研究会として 2003 年に設立され、2020 年 6 月までに 150 回の例会を重ねてきました。この間、日本信頼性学会の春季・秋季信頼性シンポジウムでの研究発表、2 冊の書籍の刊行、JIS C5750-3-3 の策定支援、上場企業を対象としたアンケート調査などを実施してまいりました。

Life cycle costing とは、IEC 60300-3-3 によれば、「製品の取得から所有、廃却に至るまでの一連のライフサイクルで発生するトータルのコストを評価するための経済的分析のプロセスである」と定義されています。取得コストよりも所有や廃却段階で発生するコストの方が大きい場合に Lcc の重要性がより増してくることから、近年では地方自治体が所有する公共建築物やインフラ資産の管理において Lcc が非常に注目されています。

Lcc を研究するうえで、学際的視点が不可欠です。本研究会では、専門分野やバックグラウンドが異なるメンバー約 10 人が集い、様々な視点から Lcc の研究を行っています。私たちと一緒に Lcc の研究を進めてくださる仲間を募集しています。Lcc に少しでも関心がある方は、ぜひ研究会の会場または Zoom ミーティングルームにお越しください。ご参加をお待ちしております。

2020 年 7 月 31 日  
Lcc 研究会主査 中島洋行

### 【研究会主査紹介】

明星大学経営学部教授、日本信頼性学会員。専門分野は会計学で、特に Life cycle costing に関する研究を中心に行っている。Lcc 研究会では創成期からのメンバーとして活動し、2011 年より幹事、2017 年 4 月より三代目の主査となる。